

仕様書：別表第2

No	大項目	中項目	小項目	機能詳細
1	可用性	継続性	RLO（目標復旧レベル）	平常時、障害が発生した際には、全システム機能の復旧を実施すること。
2	性能・拡張性	性能目標値	通常時レスポンスタイム	通常時の画面遷移時間は、3秒以内を目標とすること。
3	運用・保守性	通常運用	運用時間	システムの運用時間は、24時間365日とする。
4	運用・保守性	保守運用	OS等パッチ適用タイミング	OS等のパッチについては、随時適用を行うことを目標とする。
5	運用・保守性	障害時運用	マニュアル準備レベル	運用マニュアルについては、システムの通常運用と保守運用のマニュアルを提供すること。
6	運用・保守性	サポート体制	ライフサイクル期間	システムのライフサイクル期間は、3年とする。
7	運用・保守性	サポート体制	ベンダー側対応時間帯	一次対応における受付対応時間は、平日9時～17時とすること。
8	運用・保守性	サポート体制	定期報告会実施頻度	運用の定期報告は、年4回以上とする。
9	運用・保守性	サポート体制	報告内容のレベル	保守の定期報告は、障害及び運用状況報告に加えて、改善提案を行うこと。
10	運用・保守性	サポート体制	問い合わせ対応窓口の設置有無	運用保守時の問い合わせ窓口については、ベンダーによる提案事項とすること。
11	運用・保守性	不正追跡・監視	ログの取得	不正アクセス等の情報セキュリティインシデントの追跡・監視のために必要なログを取得すること。